

News Release

2024年10月17日

本田技研工業株式会社
株式会社プラグ**Honda とプラグ、日本の公共充電ネットワーク拡大に向けた業務提携契約と
プラグアンドチャージシステムの共同開発契約を締結**

本田技研工業株式会社（以下、Honda）は、日本における電気自動車（EV）の利用環境向上に向けて、株式会社プラグ（以下、プラグ）と、公共充電ネットワークの拡大に関する業務提携契約および、EV に充電プラグを差し込むだけで充電と決済ができるプラグアンドチャージ*¹（以下、PnC）システムの共同開発契約をそれぞれ締結しました。

EV の普及においては、魅力ある EV の投入に加え、利便性の高い充電ネットワークの整備が必須となります。Honda は、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて、グローバルでの EV・燃料電池自動車（FCEV）の販売比率を 2040 年に 100% とする目標を掲げています。また、プラグは、日本において充電ステーションを展開し、生活や移動の動線における「シンプル・カンタン・シームレスな充電」を叶えるサービス、ソフトウェアソリューションの提供を行い、EV 普及に向けた取り組みを推進しています。

こうした EV の普及に向けて両社は、Honda が持つ EV・バッテリーの制御技術やコネクテッド技術と、プラグが持つ充電ステーションの開発、普及ノウハウを組み合わせることで、EV ユーザーにより便利な利用環境を提供することを目指します。

■公共充電ネットワークの拡大に向けた急速充電器の設置

- ・Honda が主体となり、今後の EV 市場の拡大に伴う充電器需要に対応し、EV ユーザーの利便性を高めるべく、2030 年までに数千口規模の急速充電器の設置を目指します。
- ・ディーラーや商業施設など、EV が多く利用される市街地を中心に充電器を設置することで、ユーザーが目的施設の利用時間に充電できる効率的な充電環境を提供します。
- ・加えて、スマートフォンアプリを通じた、充電ステーションの検索、満空情報の確認、予約、オンライン決済などのサービスを提供します。

■CHAdemoMO 規格に準拠した PnC システムの共同開発

- ・CHAdemoMO 規格*² に準拠した EV と充電器間の自動認証を行う PnC システムを共同で開発します。
- ・通常、EV を充電する際には認証などの作業をユーザーが手動で行う必要がありますが、本システムにより、充電ケーブルを接続するだけで充電ステーションの利用とオンライン決済が可能となります。
- ・両社は今後販売する Honda の EV および設置する充電器への PnC システムの適用の検討を進めていきます。
- ・両社は CHAdemoMO 規格に準拠した PnC システムの日本初の実証実験を 2024 年 8 月に完了しており、今後の実用化に向けた共同開発を進めていきます。

*1 車両に充電ケーブルのプラグを差し込むだけで、自動で認証・充電・決済が行われる機能

*2 EV 用の急速充電規格の国際標準の一つ。コネクタの規格や充電方法、通信方法を CHAdemoMO 協議会で制定し、認証を行っている

■本田技研工業株式会社 執行役常務 小澤 学のコメント

「Honda は、EV を単に移動のためのモビリティとしてだけでなく、お客様や社会にとってのエネルギーシステムに進化をもたらすものと捉えています。充電するという行為を、体験や習慣的な価値として捉えて EV の普及を目指すプラグと志を共にし、より実用的な充電環境の拡充を目指していきます」

■株式会社プラグ 代表取締役 CEO 大川 直樹のコメント

「EV 普及期を見据えた中長期的な視野で、強い EV ブランドと事業基盤を構築することを目指している Honda との協業を開始できることについて、とても光栄に思います。

たとえばプラグアンドチャージシステムは、まるでレジを通さずに買い物するようなシームレスな充電体験を実現します。プラグは長年にわたり充電体験の開発と社会実装を推進してきましたが、このようなシンプルで生活習慣に溶け込むような体験の創造を、この協業により、さらに加速できることを実感しています」